歩いた、見た、感じた

ヨーロッパ（ドイツ）

WV4期　加藤博一

地域

ミュンヘンの北側、アウグスブルグ～モースブルグ間102キロの丘陵地帯

見た事

丘陵地帯にほぼ2キロくらいの間隔で建っていた全53塔のキリスト教建物の塔の形のいろいろについての撮影・観察、歴史的背景の考察

感じた事

・塔の部分にはいろいろな形がある。

・行程で目についた塔53基を帰国後、ドーム型、切妻型、ローソク型、四角いエンピツ型、ツイン型の5種類に分類

・最も多いイスラム式ドームは21基で十字軍遠征によるサラセン文化との接触の証